The graphic consists of four overlapping circles arranged horizontally. From left to right, the colors are green, pink, yellow, and blue. The circles overlap in a way that creates a central area where all four colors meet. The text is centered across these circles.

若者と中小企業とのネットワークにかかる調査

2009年3月

目次

● 調査概要	2
● 回答者プロフィール	4
● 第1章 モデル事業総合役立ち度	7
● 1.プログラム参加決定時のプログラムへの期待	8
● 2.モデル事業の役立ち度	9
● 第2章 モデル事業評価	11
● 1.プログラムの内容について	12
● 2.参加した企業について	18
● 3.参加した学生・求職者について	22
● 4.事業受託機関(主催者)について	26
● 第3章 満足度に影響を与える要因・要素の把握	31
● 1.役立ち度と満足度の相関	32
● 2.全般の満足度と個別満足度の相関	33
● 2-1.プログラム内容全般の満足度と参加した各プログラムの満足度の相関	33
● 2-2.参加した企業の全般的な満足度と個別の満足度の相関【参加学生・求職者】	34
● 2-3.参加した学生・求職者の全般的な満足度と個別の満足度の相関【参加企業】	34
● 2-4.事業受託機関の全般的な満足度と個別の満足度の相関	35
● 第4章 モデル事業参加による成果	37
● 1.参加学生・求職者の成果	38
● 2.参加企業の成果	40
● 3.協力機関、事業受託機関の成果	42
● 第5章 モデル事業の継続希望	43
● 1.プログラムの継続希望	44
● 2.プログラムを有料で実施した場合の参加希望度	45
● まとめ	47

調査概要

● 調査目的

- 中小企業庁「平成20年度若者と中小企業とのネットワーク構築事業」に関係した企業、学生・求職者、協力機関、事業受託機関(主催者)による事業評価を行い、今後の普及に向けての基礎資料とする。
- その際、基本的な調査フレームは同一とし、企業、学生・求職者、協力機関、事業受託機関(主催者)での自己評価－他者評価の比較を行うことで意識のギャップを明らかにする。
- また、事業参加の役立ち度、満足度に影響を与える要因・要素を「役立ち度・満足度との相関」と「満足度」のマトリクスでプロットし、そのポジショニングにより今後の施策の優先度合いを明確にする。

● 調査対象

- 参加企業、参加学生・求職者、協力機関、事業受託機関(主催者)の合計して2611サンプル。

● 調査方法

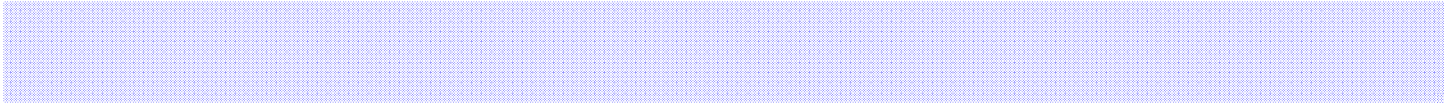
- 参加企業、参加学生・求職者、協力機関、事業受託機関(主催者)への郵送調査、およびイベント会場での配布。

● 調査実施期間

- 2009年1月14日～1月28日 ※2月12日返信までを入力・集計

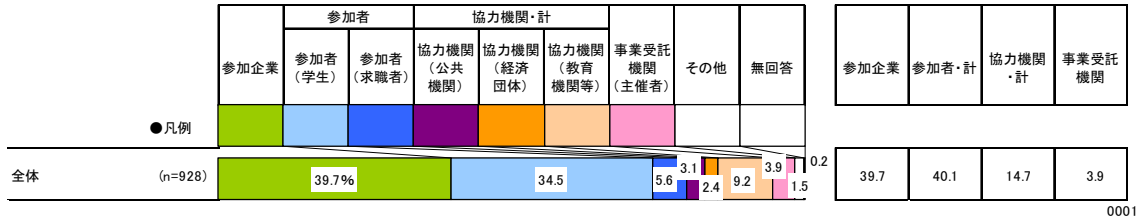
● 回収数

- 928サンプル (回収率:35.5%)

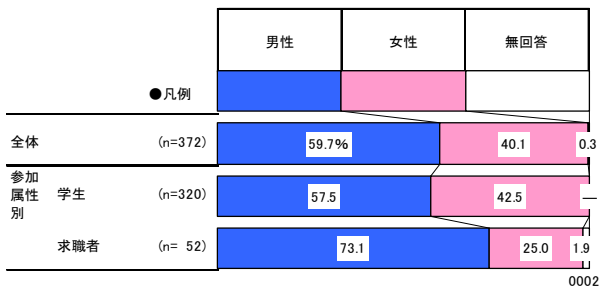


回答者プロフィール

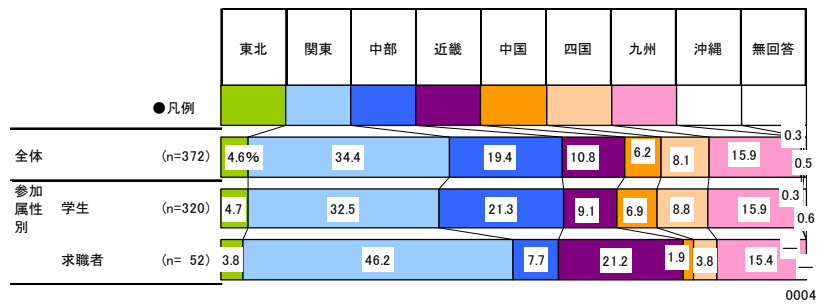
■回答者属性(全体/単一回答)



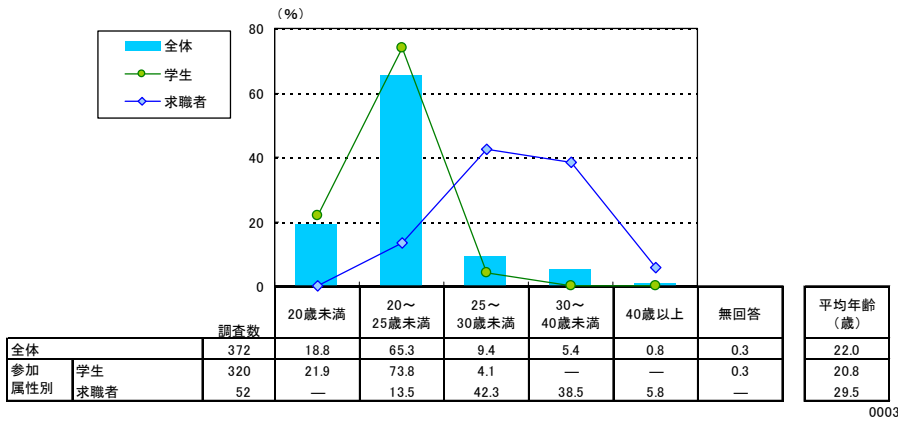
■性別(参加者/単一回答)



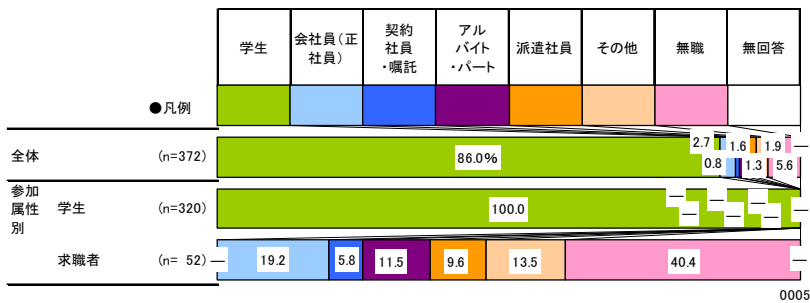
■居住エリア(参加者/単一回答)



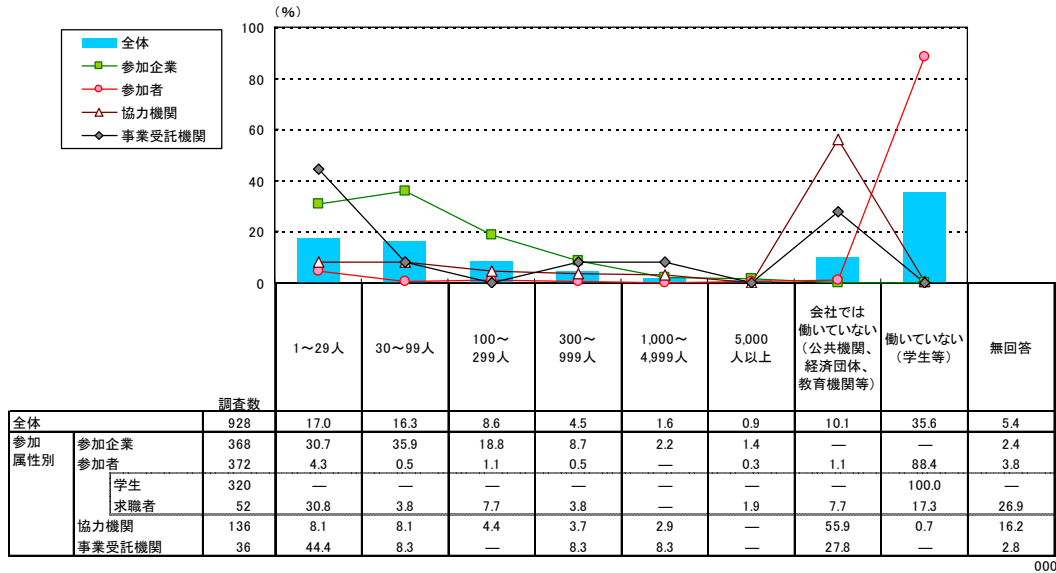
■年齢(3月末時点)(参加者/単一回答)



■職業(参加者/単一回答)

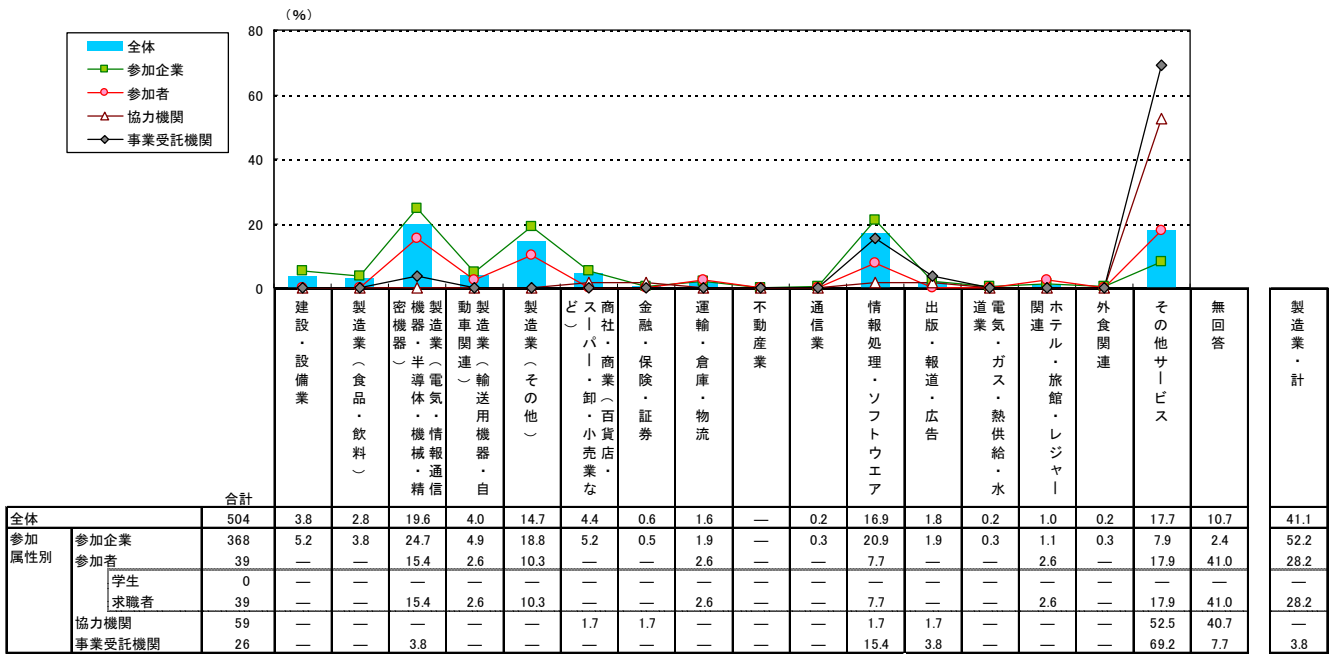


■勤務先の従業員規模(全体/単一回答)

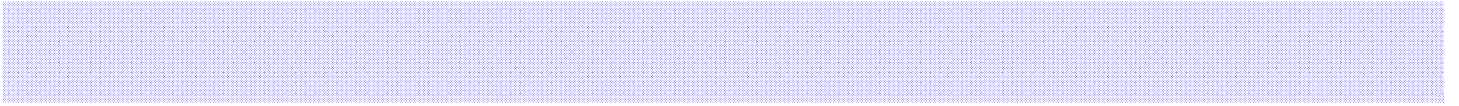


0006

■勤務先の業種(企業勤務者/単一回答)



0007





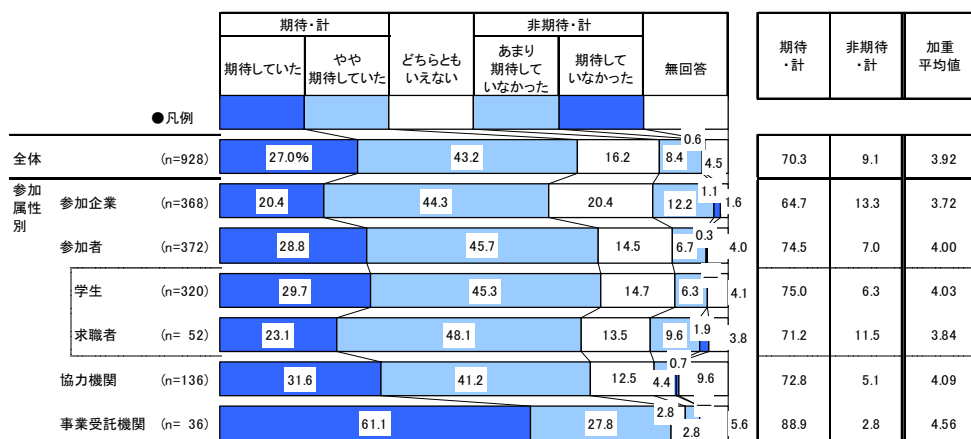
第1章 モデル事業総合役立ち度

1.プログラム参加決定時のプログラムへの期待

● 「期待していた」が27%。「やや期待していた」まで含めた「期待・計」が70%。

- 参加属性別にみると、参加企業では「期待・計」の割合(65%)が他の属性に比べて低い。
- 一方、参加学生・求職者では「期待・計」の割合(75%)が全体値に比べて5ポイント高い。

■本事業(プログラム)参加決定時のプログラムへの期待(全体/単一回答)

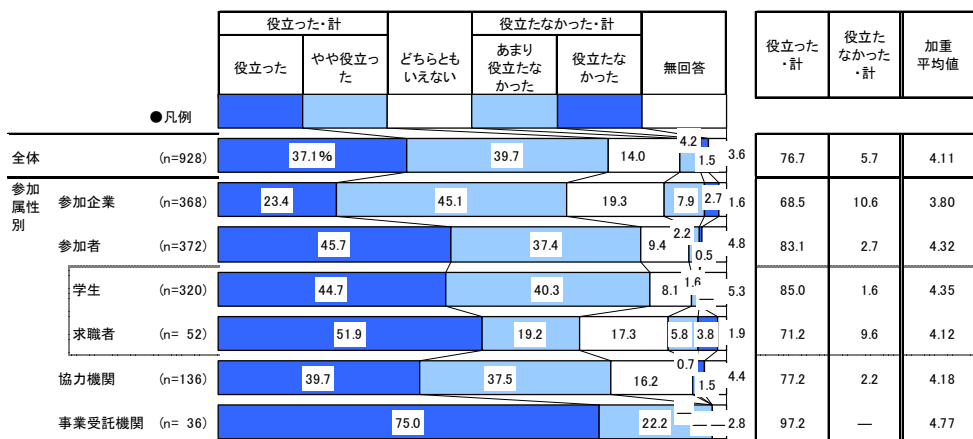


1101

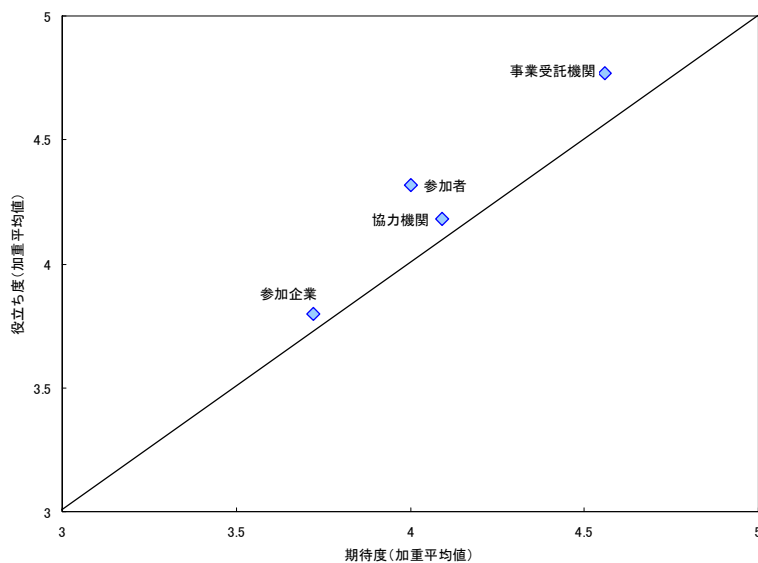
2.モデル事業の役立ち度

- 「役立った」が37%。「やや役立った」まで含めた「役立った・計」が77%。
- 期待度と比較すると、期待以上に役立ったと感じている。
- 参加属性別にみると、参加企業の「役立った・計」の割合(69%)が他の属性に比べて低い。
- 一方、参加学生・求職者の「役立った・計」の割合(83%)は全体値より6ポイント高い。
- 期待度と比較すると、いずれの層も期待以上に役立ったと感じている。

■ 本事業(プログラム)の役立ち度(全体/単一回答)



■ 期待度と役立ち度の関係



1202



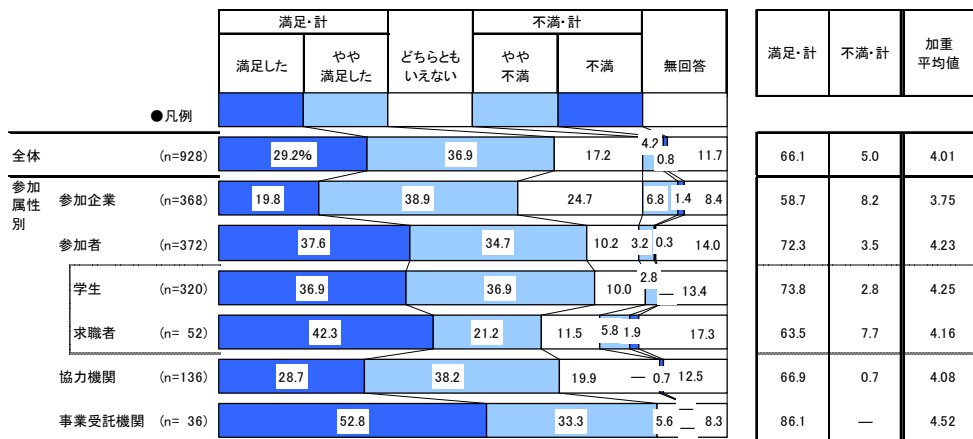


第2章 モデル事業評価

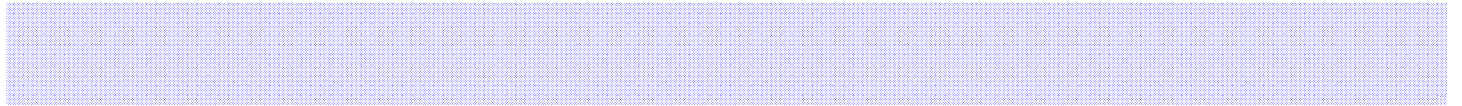
1.プログラムの内容について

- プログラム内容全般について「満足した」が29%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が66%。
- 参加属性別にみると、参加企業の「満足・計」の割合(59%)が他の層に比べて低い。
- 参加学生・求職者の「満足・計」の割合(72%)は、全体値に比べて6ポイント高い。

■プログラム内容全般の満足度(全体/単一回答)



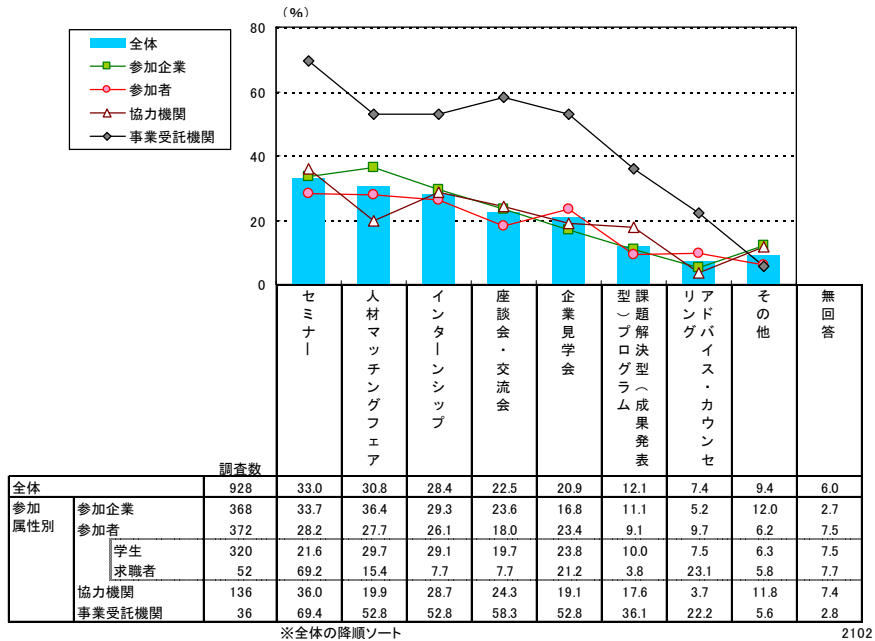
2101



- 個別プログラムで最も参加率の高かったプログラムは、「セミナー」(33%)。以下、「人材マッチングフェア」(31%)、「インターンシップ」(28%)が3割前後の参加率で続く。

- 参加属性別にみると、参加企業では「人材マッチングフェア」(36%)の参加率が他の層に比べて高い。
- 参加学生・求職者では、上位3項目は全体と同じプログラムであるが全般に参加率がやや低い。「企業見学会」(23%)が第4位に挙げられており、参加率もやや高い。
 - 参加学生・求職者のうち求職者では、「セミナー」(69%)、「アドバイス・カウンセリング」(23%)の順に高く、いずれの参加率も全体を15ポイント以上上回る。

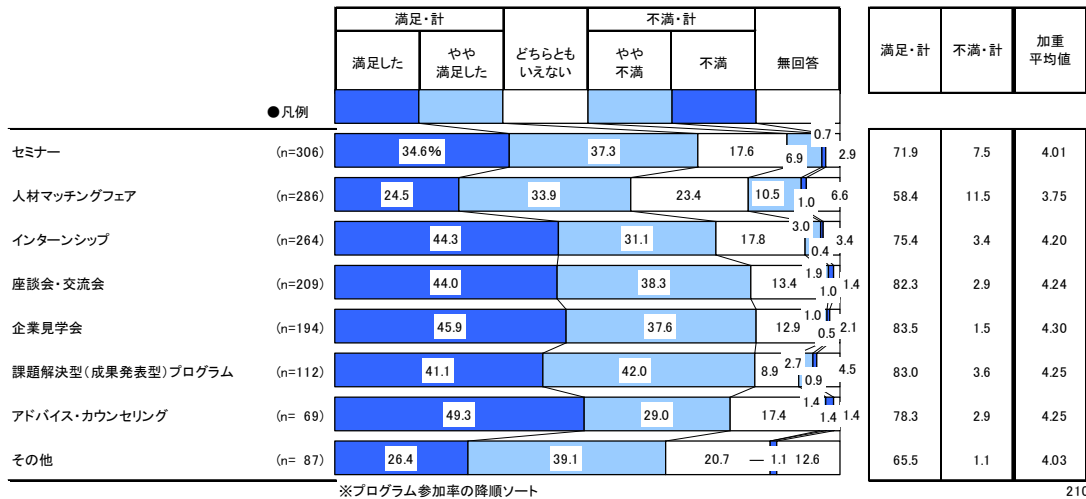
■参加したプログラム(全体/複数回答)



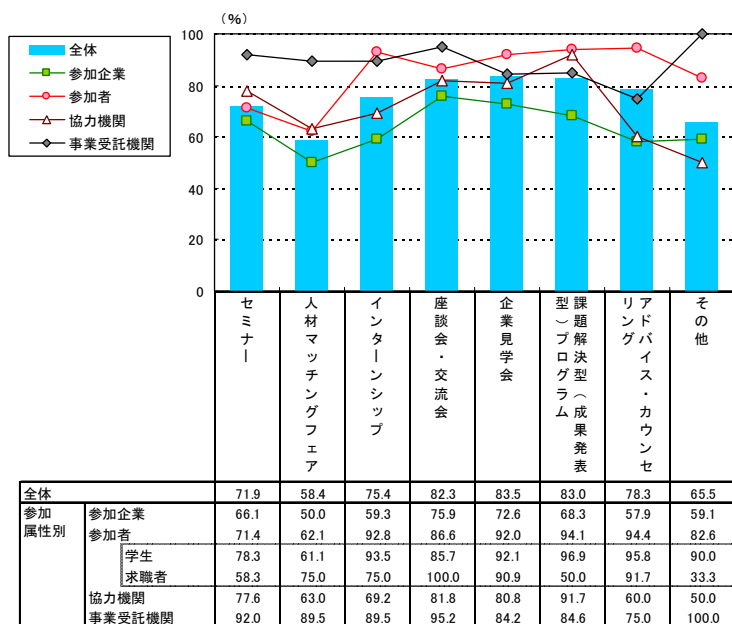
- 参加したプログラムの満足度をみると、『アドバイス・カウンセリング』は参加者の半数近く(49%)が「満足した」と回答。
- 「やや満足した」まで含めた「満足・計」では、『企業見学会』(84%)、『課題解決型(成果発表型)プログラム』(83%)、『座談会・交流会』(82%)が8割以上。

- 参加属性別にみると、参加企業では全般に「満足・計」の割合が他の層に比べ低い。
- 一方、参加学生・求職者では全般に「満足・計」の割合が高く、「アドバイス・カウンセリング」(94%)、「課題解決型(成果発表型)プログラム」(94%)、「インターンシップ」(93%)、「企業見学会」(92%)では9割を超える。
 - ・「インターンシップ」の「満足・計」の割合は参加学生・求職者では93%に対し、参加企業では59%と大きな差がみられる。

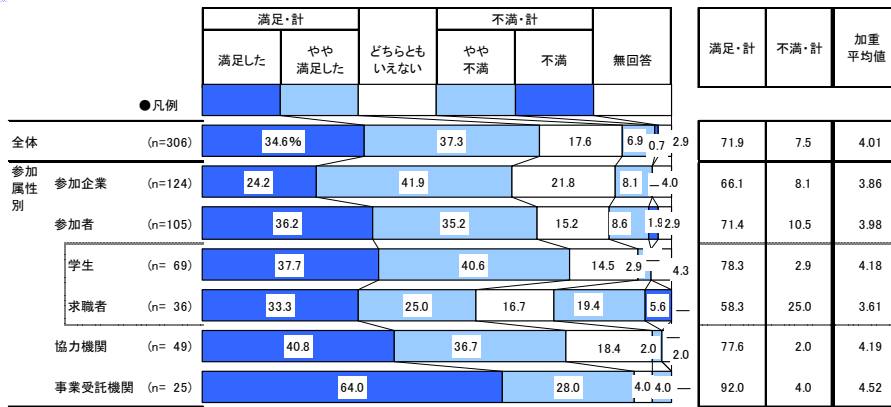
■参加したプログラムの満足度【マトリクス】（各プログラム参加者／各単一回答）



■参加したプログラムの満足度【「満足・計」の割合】（各プログラム参加者／単一回答）

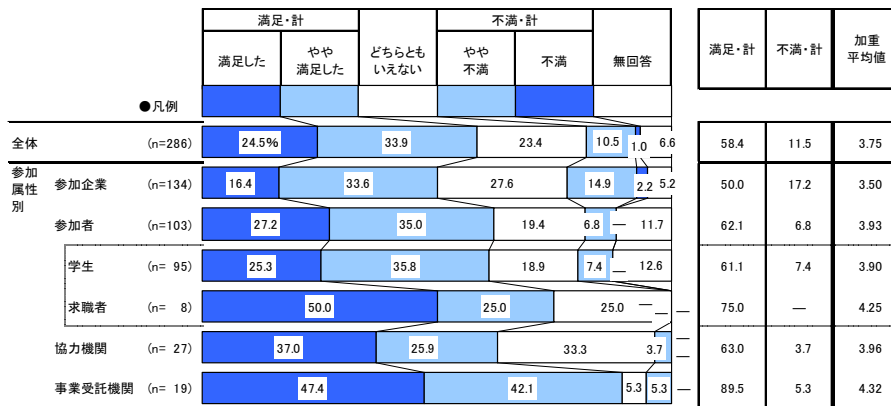


■参加したプログラムの個別満足度：セミナー(全体／単一回答)



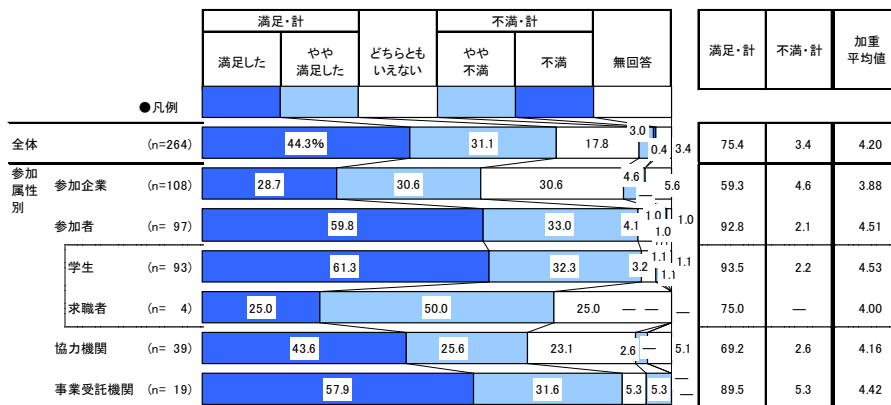
2104-2

■参加したプログラムの個別満足度：人材マッチングフェア(全体／単一回答)



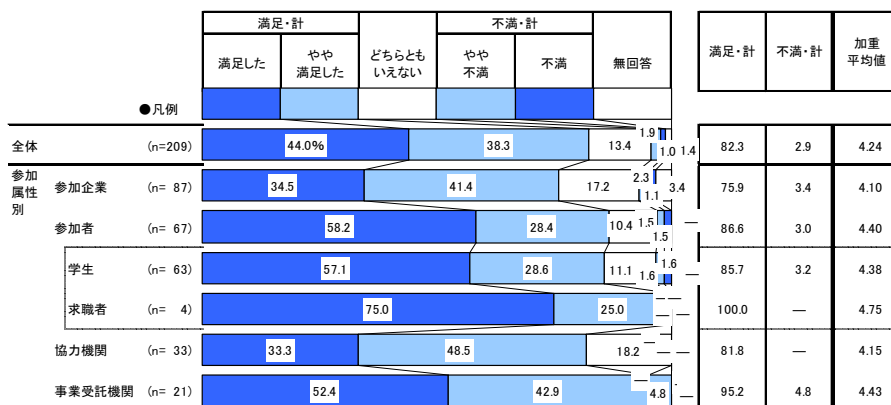
2104-1

■参加したプログラムの個別満足度：インターンシップ(全体／単一回答)



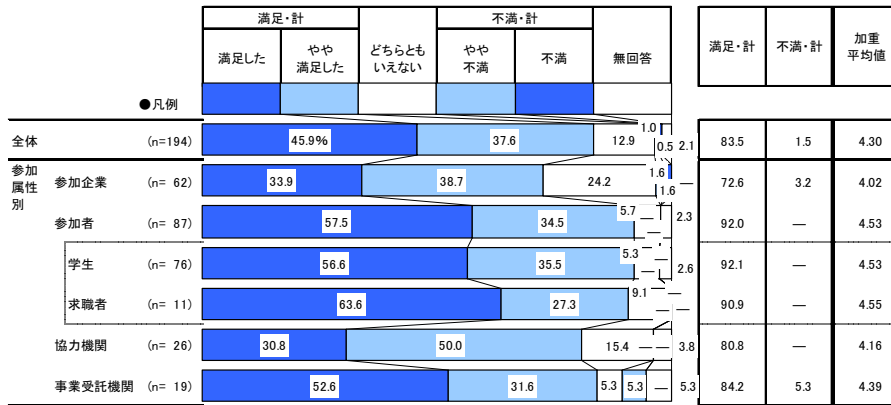
2104-7

■参加したプログラムの個別満足度：座談会・交流会(全体／単一回答)



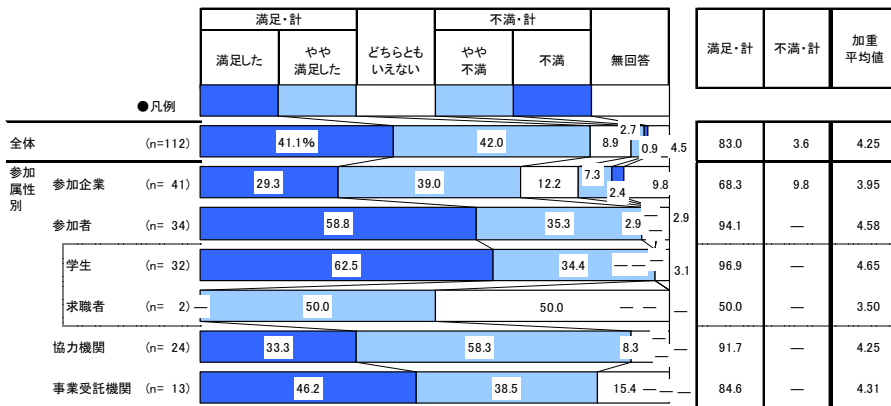
2104-4

■参加したプログラムの個別満足度：企業見学会(全体／単一回答)



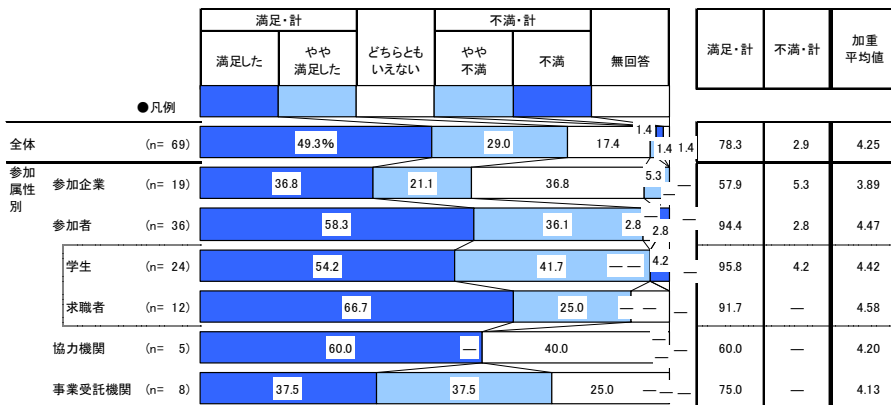
2104-3

■参加したプログラムの個別満足度：課題解決型(成果発表型)プログラム(全体／単一回答)



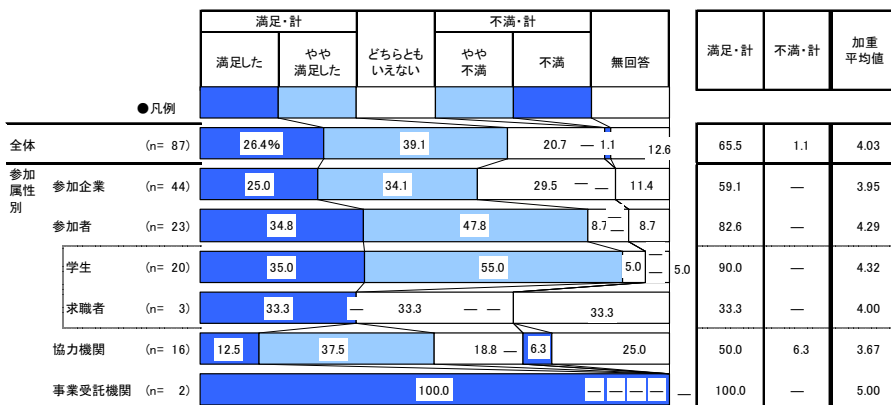
2104-5

■参加したプログラムの個別満足度：アドバイス・カウンセリング(全体／単一回答)



2104-R

■参加したプログラムの個別満足度：その他(全体／単一回答)

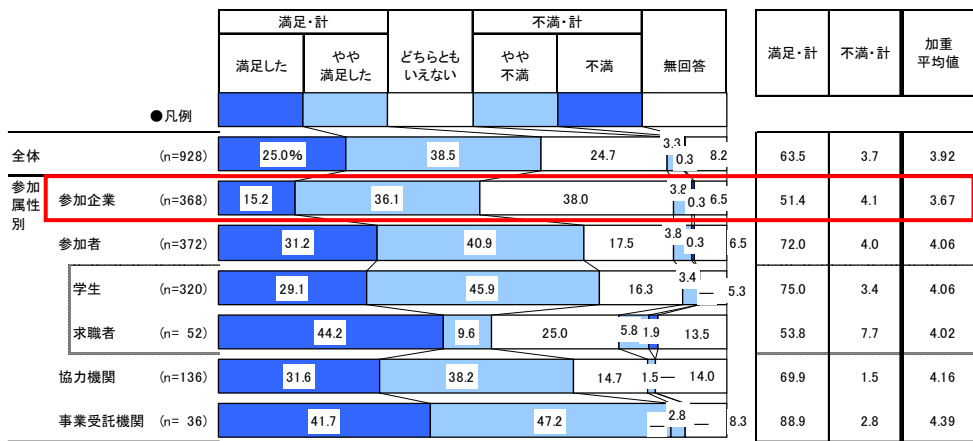


2104-8

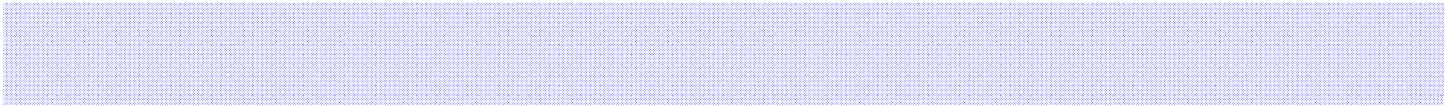
2.参加した企業について

- 参加した企業について全般的にみて「満足した」が25%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が64%。
 - 参加企業の「満足・計」と比較して、他の属性の「満足・計」の割合が高い。
- 参加属性別にみると、参加企業では「満足した」が15%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が51%。
 - これに対して、参加学生・求職者(72%)、協力機関(70%)、事業受託機関(89%)の「満足・計」の割合は、参加企業を大きく上回る。

■参加した企業の全般的な満足度(全体／単一回答)



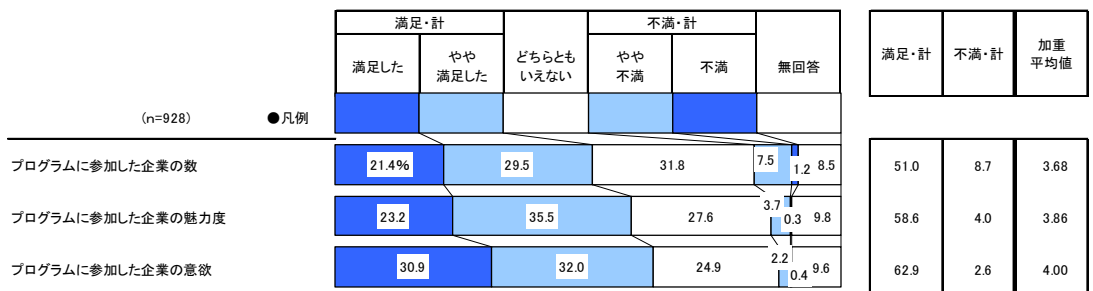
2201



- 参加した企業の個別満足度をみると、『プログラムに参加した企業の意欲』の「満足・計」の割合が63%。
『プログラムに参加した企業の魅力度』(59%)、『プログラムに参加した企業の数』(51%)でも半数以上が“満足”と回答。

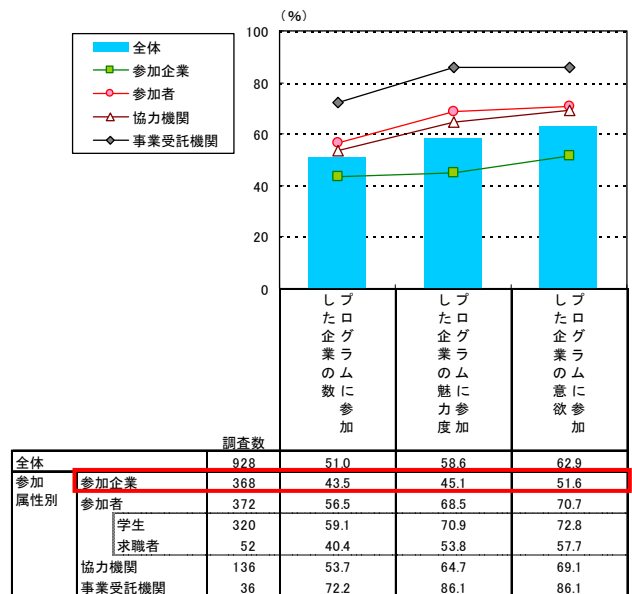
- 参加属性別にみると、参加企業では全般に「満足・計」の割合が低い。
- 他の層では、全般に「満足・計」の割合が高く、いずれの項目も参加企業の「満足・計」の割合を上回る。

■参加した企業の個別満足度【マトリクス】（全体／各単一回答）



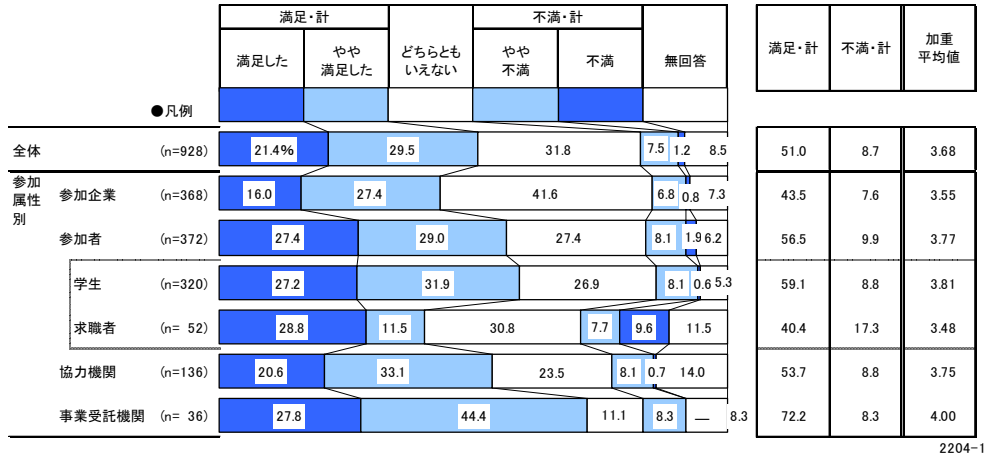
2203

■参加した企業の個別満足度【「満足・計」の割合】（全体／単一回答）



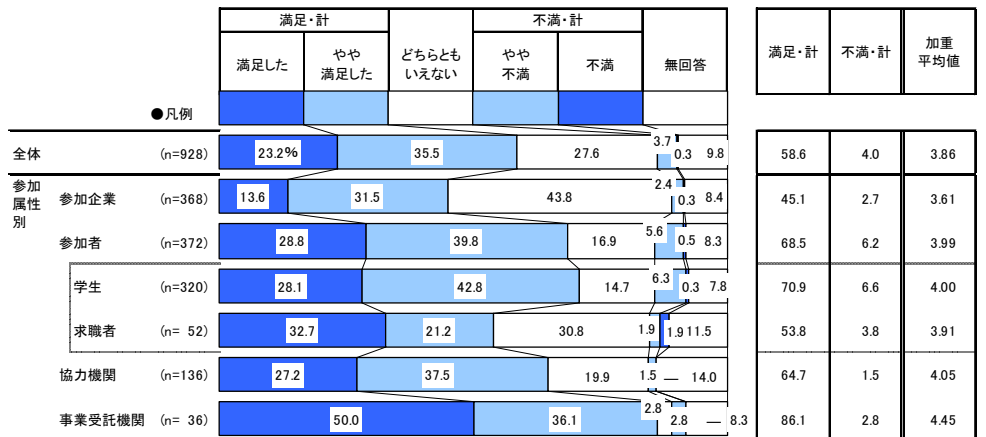
2204

■参加した企業の個別満足度：プログラムに参加した企業の数(全体/単一回答)



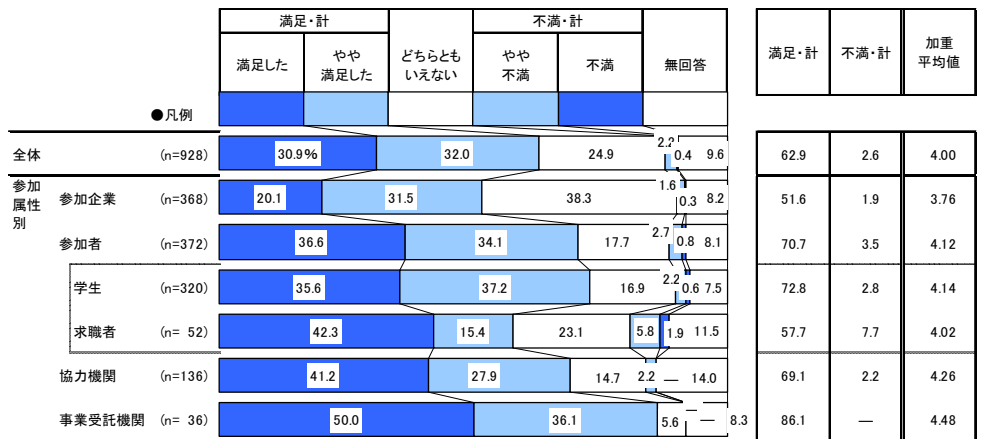
2204-1

■参加した企業の個別満足度：プログラムに参加した企業の魅力度(全体/単一回答)



2204-2

■参加した企業の個別満足度：プログラムに参加した企業の意欲(全体/単一回答)



2204-3

3.参加した学生・求職者について

- 参加した学生・求職者について全般的にみて「満足した」が19%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が52%。
- 参加学生・求職者の「満足・計」の割合と比較して、参加企業(40%)、協力機関(49%)の「満足・計」の割合の方が低い。
- 参加属性別にみると、参加学生・求職者では「満足した」が25%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が62%。
- 事業受託機関の「満足・計」の割合(83%)は、参加学生・求職者の「満足・計」の割合を上回るが、参加企業(40%)と協力機関(49%)の「満足・計」の割合は下回る。

■参加した学生・求職者の全般的な満足度(全体／単一回答)

	n	満足・計			不満・計		無回答	満足・計	不満・計	加重 平均値	
		満足した	やや満足した	どちらとも いえない	やや不満	不満					
●凡例											
全体	(n=928)	19.1%	32.7		25.6	6.3	0.6	15.7	51.7	6.9	3.75
参加属性別											
参加企業	(n=368)	13.6	26.4		32.9	10.3	0.8	16.0	39.9	11.1	3.50
参加者	(n=372)	24.5	37.9		22.6	3.2	0.3	11.6	62.4	3.5	3.94
学生	(n=320)	24.1	38.8		24.1	3.4	—	9.7	62.8	3.4	3.92
求職者	(n= 52)	26.9	32.7		13.5	1.9	1.9	23.1	59.6	3.8	4.05
協力機関	(n=136)	13.2	35.3		20.6	3.7	1.5	25.7	48.5	5.1	3.74
事業受託機関	(n= 36)	44.4	38.9		5.6	2.8	—	8.3	83.3	2.8	4.36

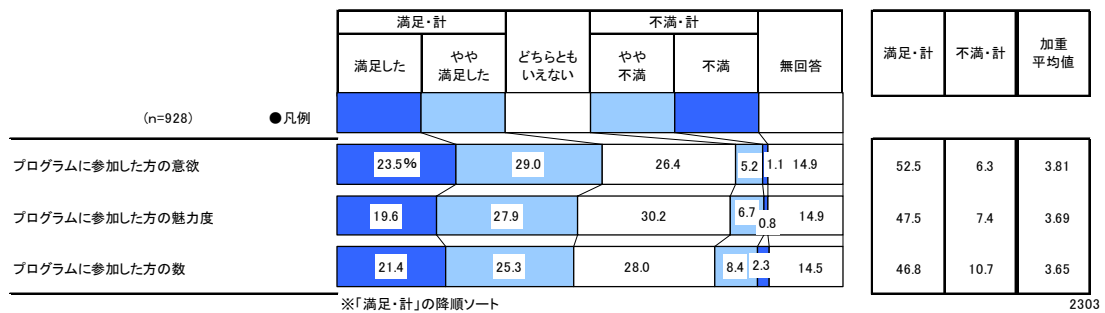
2301



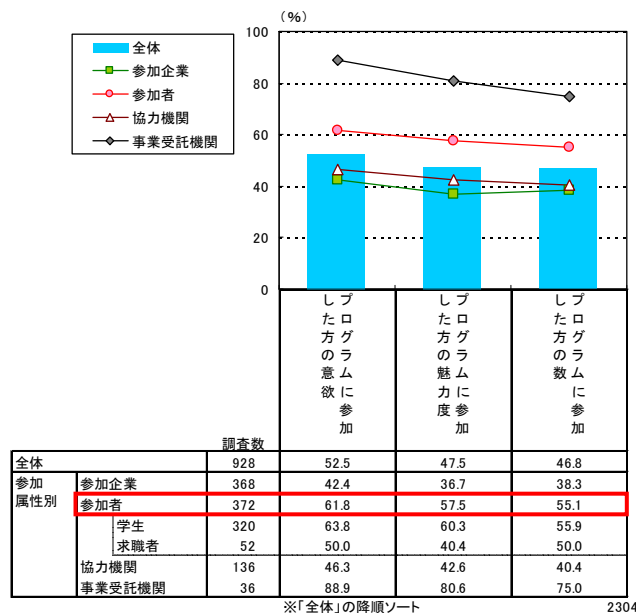
● 参加した学生・求職者の個別満足度をみると、「プログラムに参加した方の意欲」の「満足・計」が5割を超える。

- 参加属性別にみると、参加企業、協力機関の「満足・計」の割合が全般に低く、参加学生・求職者の「満足・計」の割合を下回る。
- 一方、事業受託機関では「満足・計」の割合が全般に高く、いずれの項目も参加学生・求職者の「満足・計」の割合を上回る。

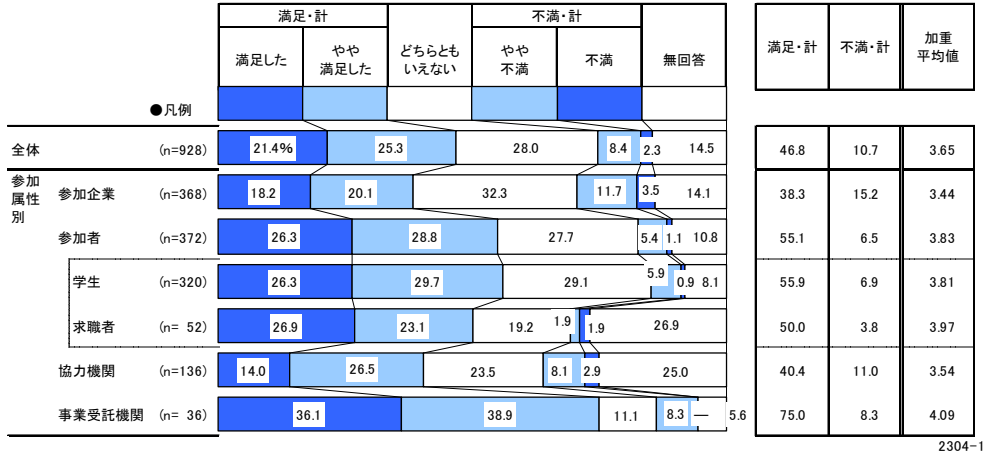
■参加した学生・求職者の個別満足度【マトリクス】（全体／各単一回答）



■参加した学生・求職者の個別満足度【「満足・計」の割合】（全体／単一回答）

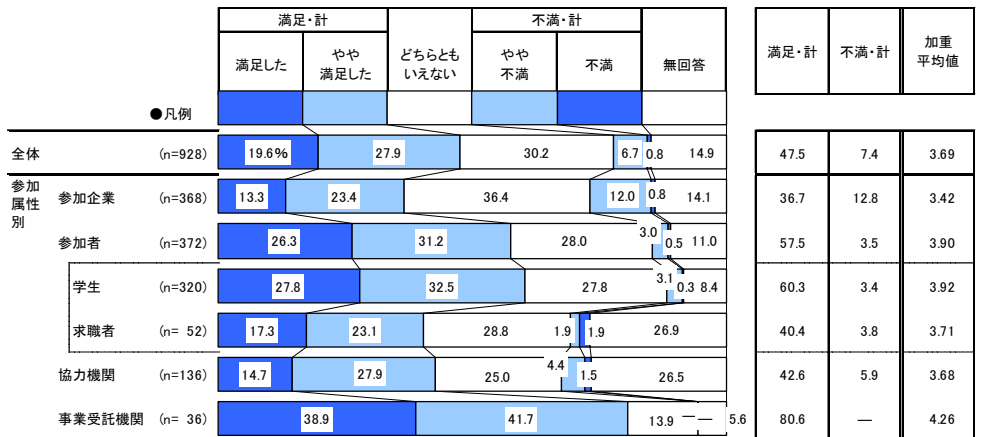


■参加した学生・求職者の個別満足度：プログラムに参加した方の数(全体／単一回答)



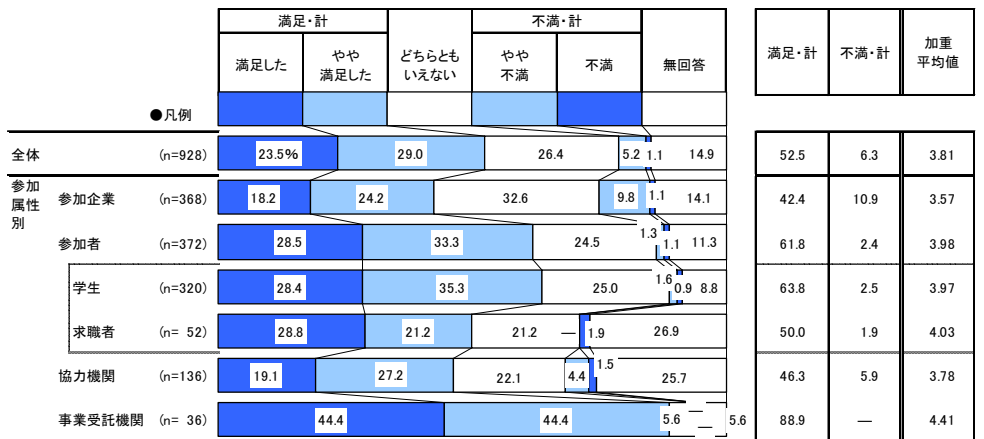
2304-1

■参加した学生・求職者の個別満足度：プログラムに参加した方の魅力度(全体／単一回答)



2304-2

■参加した学生・求職者の個別満足度：プログラムに参加した方の意欲(全体／単一回答)

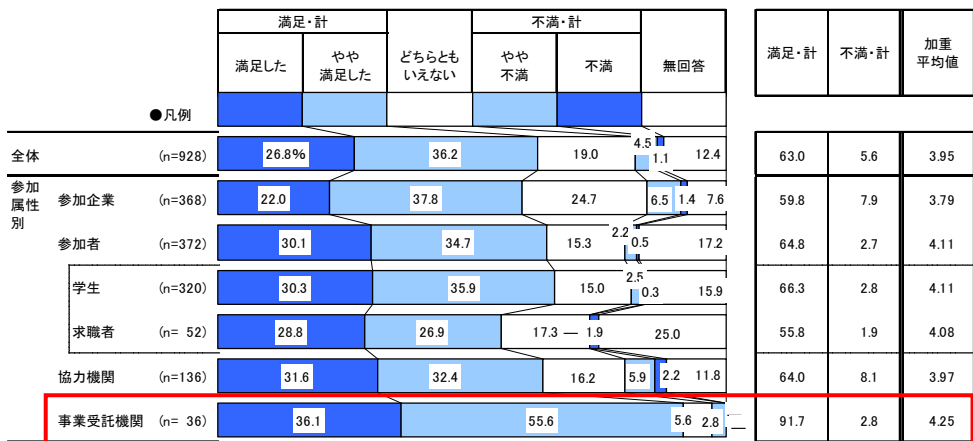


2304-3.xls

4.事業受託機関(主催者)について

- 事業受託機関(主催者)について、全般的にみて「満足した」が27%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が63%。
 - 事業受託機関の「満足・計」の割合と比較すると、他の層の「満足・計」の割合の方が低い。
- 事業受託機関では、「満足した」が36%。「やや満足した」まで含めた「満足・計」が92%。
 - これに対して、参加企業(60%)、参加学生・求職者(65%)、協力機関(64%)の「満足・計」の割合は、事業受託機関の「満足・計」の割合を下回る。

■事業受託機関の全般的な満足度(全体/単一回答)



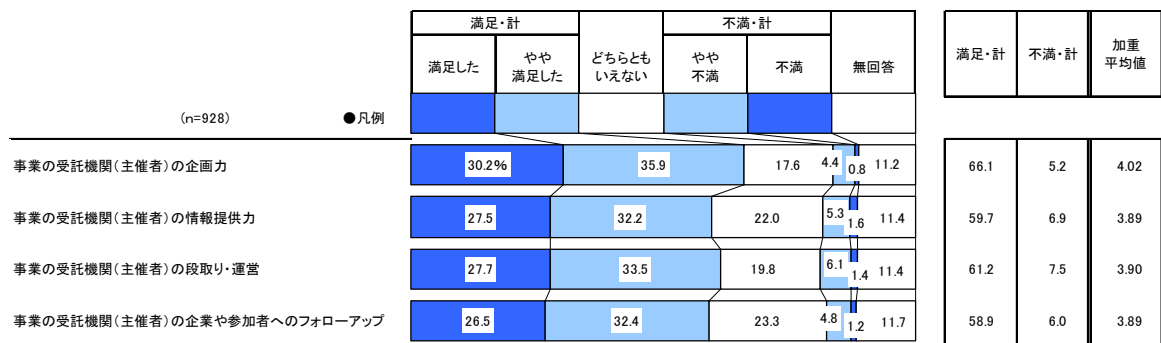
2401



- 事業受託機関の個別満足度をみると、いずれについても半数以上が“満足”と回答。
『事業の受託機関(主催者)の企画力』(66%)、「事業の受託機関(主催者)の段取り・運営」(61%)では6割を超える。

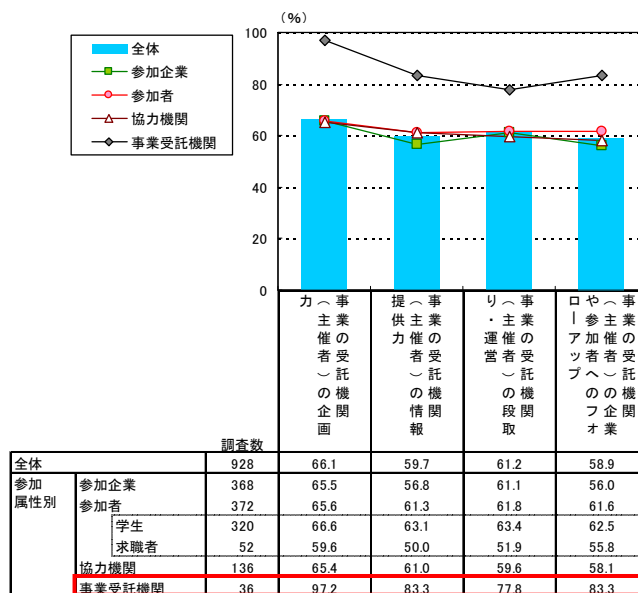
- 参加属性別にみると、事業受託機関の「満足・計」の割合が全般に高い。
一方、参加企業、参加学生・求職者、協力機関のいずれも「満足・計」の割合は同程度で、事業受託機関の「満足・計」の割合を下回る。
 - 参加企業では、「事業の受託機関(主催者)の情報提供力」(57%)が参加学生・求職者(61%)、協力機関(61%)に比べ「満足・計」の割合がやや低い。

■事業受託機関の個別満足度【マトリクス】（全体／各単一回答）



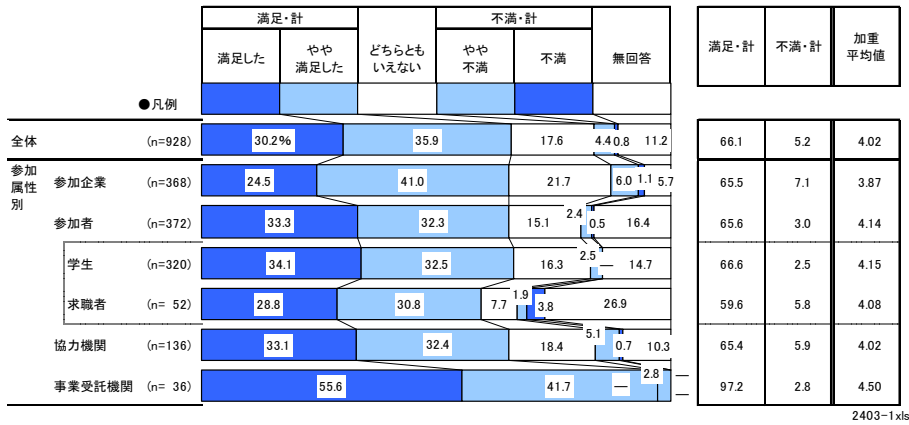
2403

■事業受託機関の個別満足度【「満足・計」の割合】（全体／単一回答）

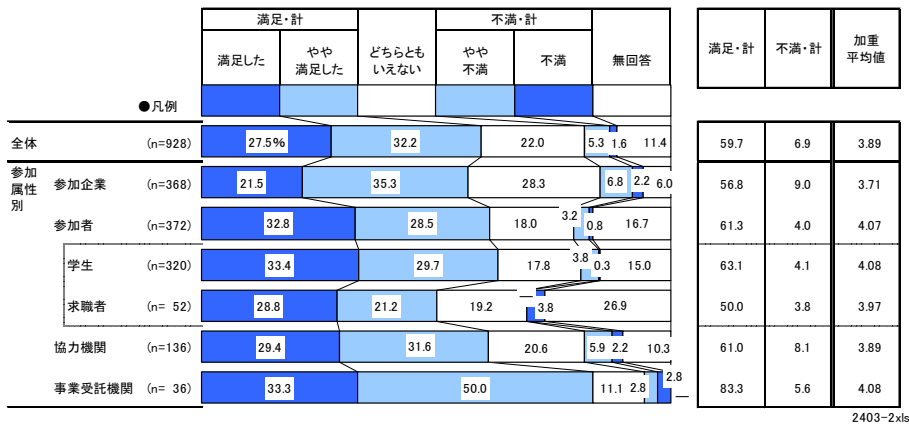


2404

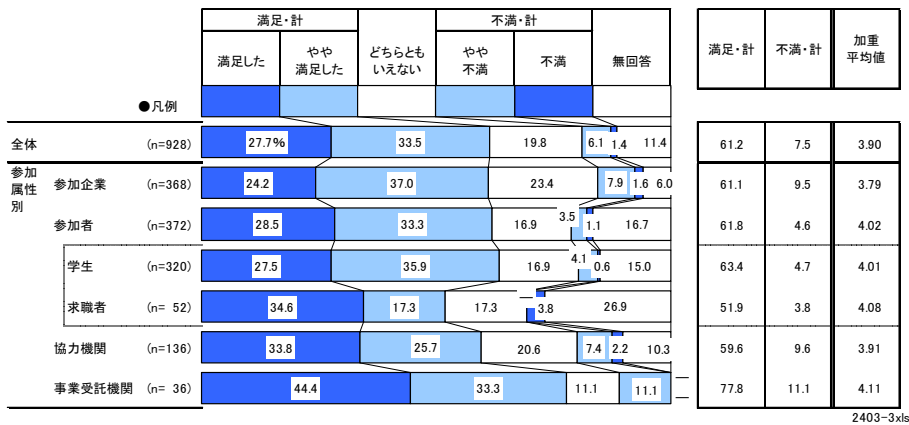
■事業受託機関の個別満足度：事業受託機関の企画力(全体／単一回答)



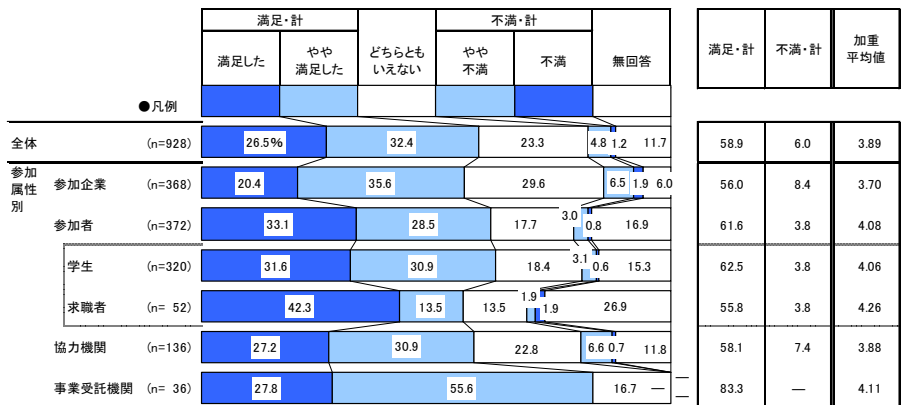
■事業受託機関の個別満足度：事業受託機関の情報提供力(全体／単一回答)

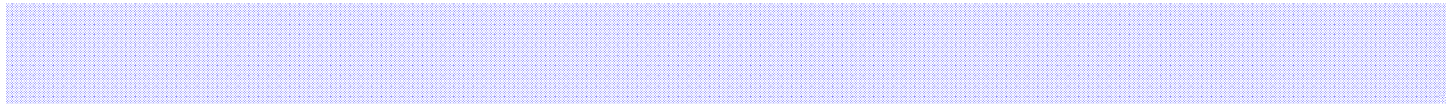


■事業受託機関の個別満足度：事業受託機関の段取り・運営(全体／単一回答)



■事業受託機関の個別満足度：事業受託機関の企業や参加者へのフォローアップ(全体／単一回答)







第3章 満足度に影響を与える要因・要素の把握

1. 役立ち度と満足度の相関

役立ち度とプログラム内容全般の満足度、参加した企業の全般的な満足度、参加した学生・求職者の全般的な満足度、事業受託機関の全般的な満足度の4指標の相関と、各4指標の満足度をマトリクスでプロットした。

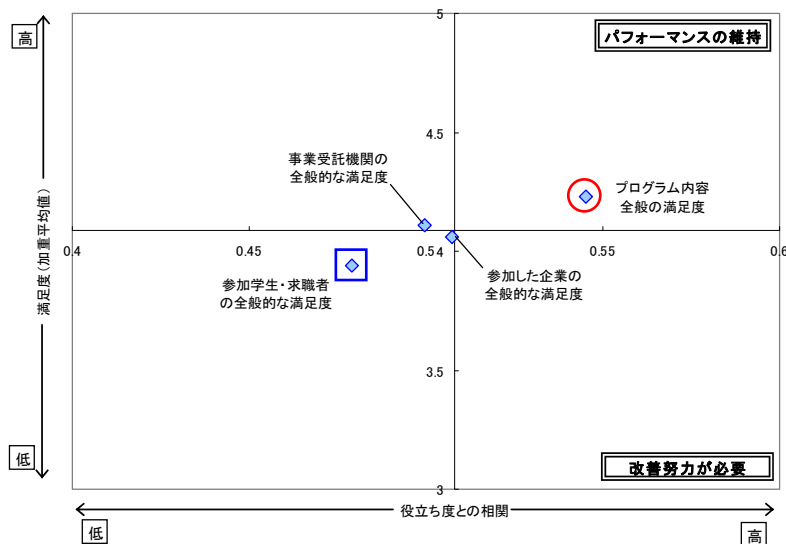
【参加学生・求職者】

- 4指標のうち、「プログラム内容全般の満足度」が役立ち度との相関、満足度が平均値を上回る。
- 「参加した企業の全般的な満足度」は、役立ち度との相関、満足度ともに平均値と同程度。

【参加企業】

- 参加企業でも、「プログラム内容全般の満足度」が役立ち度との相関、満足度ともに平均値を上回る。また、「事業受託機関の全般的な満足度」も同様の傾向がみられるが、役立ち度との相関は「プログラム内容全般の満足度」に比べて低い。
- 逆に、「参加した学生・求職者の全般的な満足度」は役立ち度との相関、満足度ともに平均値を下回る。

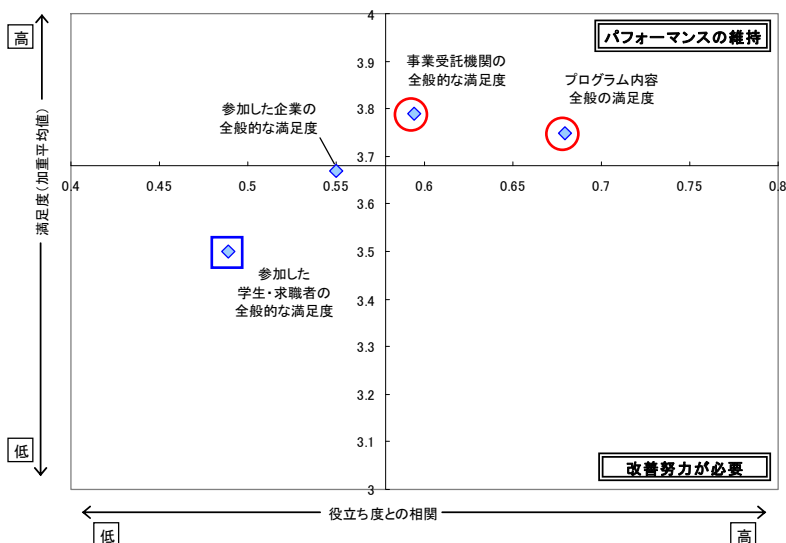
■ 役立ち度と満足度との相関【参加学生・求職者】



平均値
 ・役に立ち度との相関 : 0.5079
 ・満足度(加重平均値) : 4.09

3101

■ 役立ち度と満足度との相関【参加企業】



平均値
 ・役に立ち度との相関 : 0.5782
 ・満足度(加重平均値) : 3.68

3102

2. 全般の満足度と個別満足度の相関

プログラム内容全般の満足度と参加した各プログラムの満足度の相関と、参加した各プログラムの満足度をマトリクスでプロットした。

2-1. プログラム内容全般の満足度と参加した各プログラムの満足度の相関

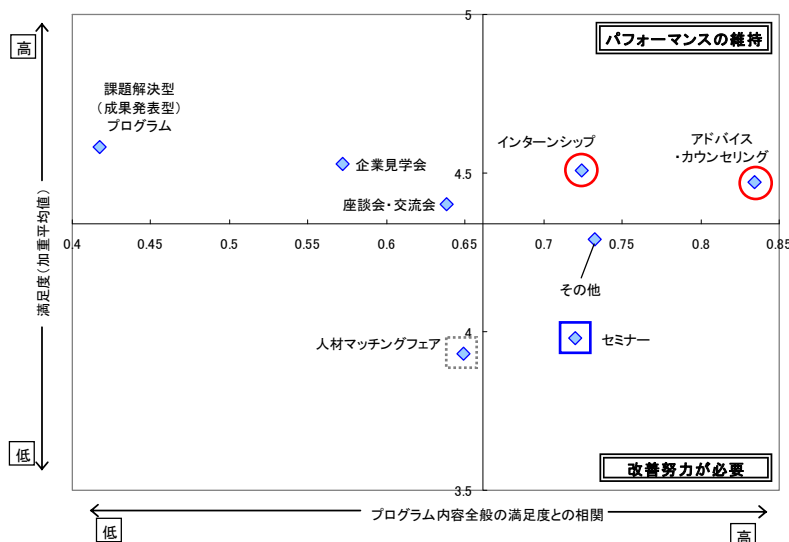
【参加学生・求職者】

- 「インターンシップ」「アドバイス・カウンセリング」では、プログラム内容全般の満足度との相関、満足度ともに平均値を上回る。
- 「アドバイス・カウンセリング」のプログラム内容全般の満足度との相関が、「インターンシップ」よりも高い。
- 「セミナー」では、プログラム内容全般の満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は下回る。
- 「人材マッチングフェア」は、プログラム内容全般の満足度との相関、満足度ともに平均値を下回る。

【参加企業】

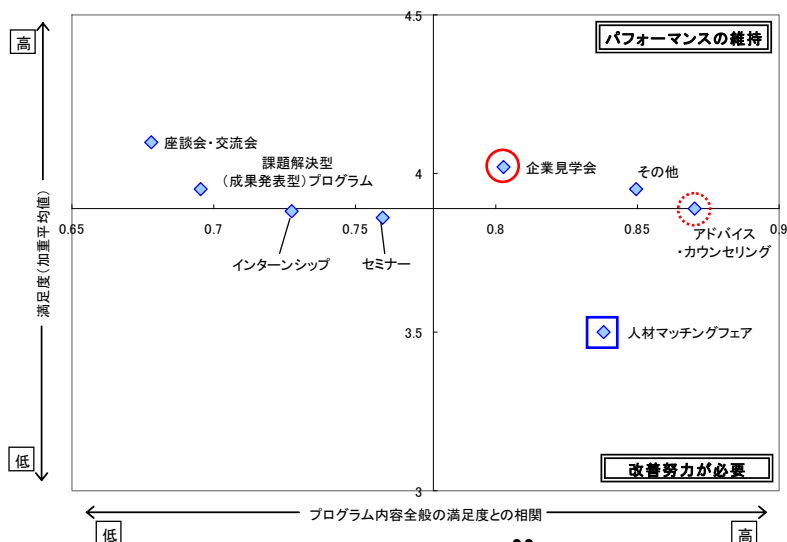
- 「企業見学会」がプログラム内容全般の満足度との相関、満足度ともに平均値を上回る。また、「アドバイス・カウンセリング」では、プログラム内容全般の満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は平均値と同程度。
- 「人材マッチングフェア」では、プログラム内容全般の満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は下回る。

■プログラム内容全般の満足度と参加した各プログラムの満足度との相関【参加学生・求職者】



3201

■プログラム内容全般の満足度と参加した各プログラムの満足度との相関【参加企業】

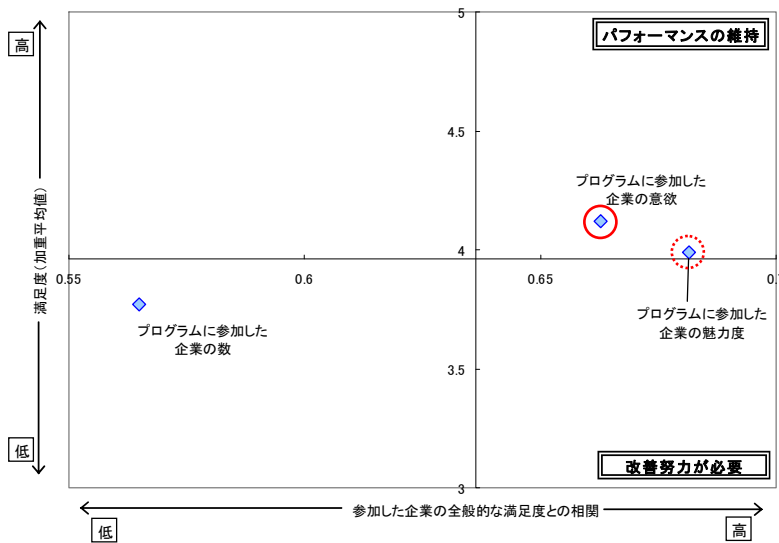


3202

参加した企業全般の満足度と個別の満足度の相関と、個別の満足度をマトリクスにプロットした。
2-2.参加した企業の一般的な満足度と個別の満足度の相関【参加学生・求職者】

- 「プログラムに参加した企業の意欲」「プログラムに参加した企業の魅力度」では、参加した企業の一般的な満足度との相関が平均値を上回る。「プログラムに参加した企業の意欲」に比べて、「プログラムに参加した企業の魅力度」の方が参加した企業の一般的な満足度との相関は高いが、満足度は平均値をやや上回る程度。

■参加した企業の一般的な満足度と個別の満足度との相関【参加学生・求職者】



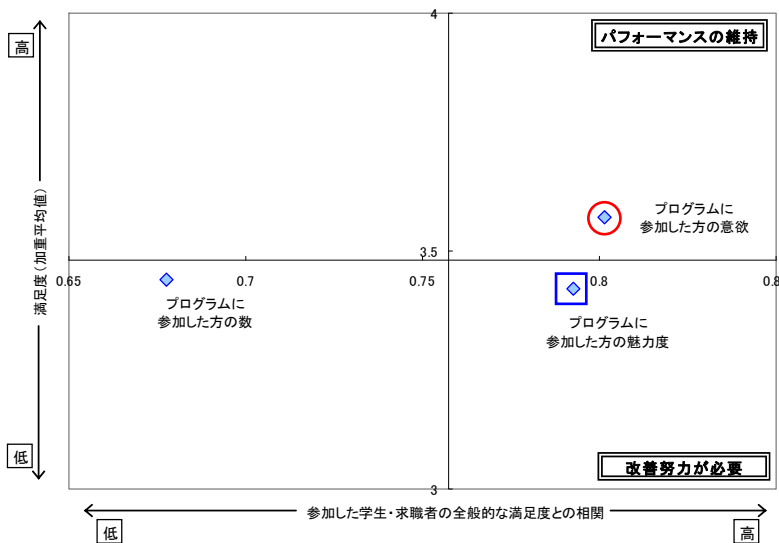
平均値
 ・企業満足度との相関 :0.6364
 ・満足度(加重平均値) :3.96

3203

参加した学生・求職者の一般的な満足度と個別の満足度の相関と、個別の満足度をマトリクスにプロットした
2-3.参加した学生・求職者の一般的な満足度と個別の満足度の相関【参加企業】

- 「プログラムに参加した方の意欲」が、参加した学生・求職者の一般的な満足度との相関、満足度ともに平均値を上回る。
- 一方、「プログラムに参加した方の魅力度」では参加した学生・求職者の一般的な満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は下回る。

■参加した学生・求職者の一般的な満足度と個別の満足度の相関【参加企業】



平均値
 ・参加学生・求職者満足度との相関 :0.7573
 ・満足度(加重平均値) :3.48

3204

事業受託機関の全般的な満足度と個別の満足度の相関と、個別の満足度をマトリクスにプロットした。
2-4.事業受託機関の全般的な満足度と個別の満足度の相関

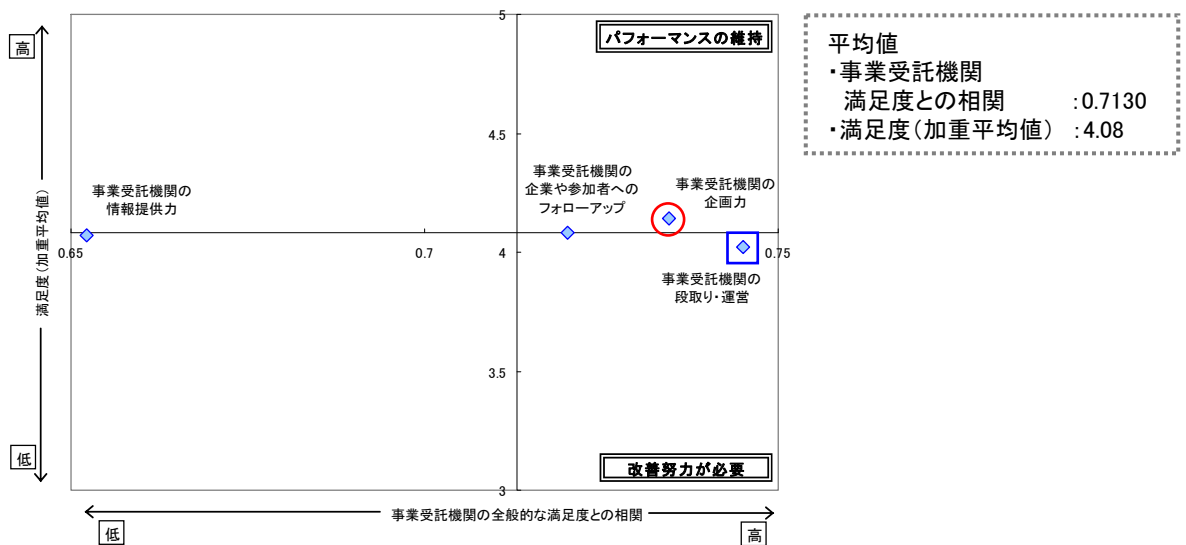
【参加学生・求職者】

- 4指標のうち、事業受託機関の全般的な満足度との相関が最も高い「事業受託機関の段取り・運営」では、満足度は平均値を下回る。
- 「事業受託機関の企画力」が、事業受託機関の全般的な満足度との相関、満足度ともに平均値を上回る。
 - 「事業受託機関の企業や参加者へのフォローアップ」では、事業受託機関の全般的な満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は平均値と同程度。

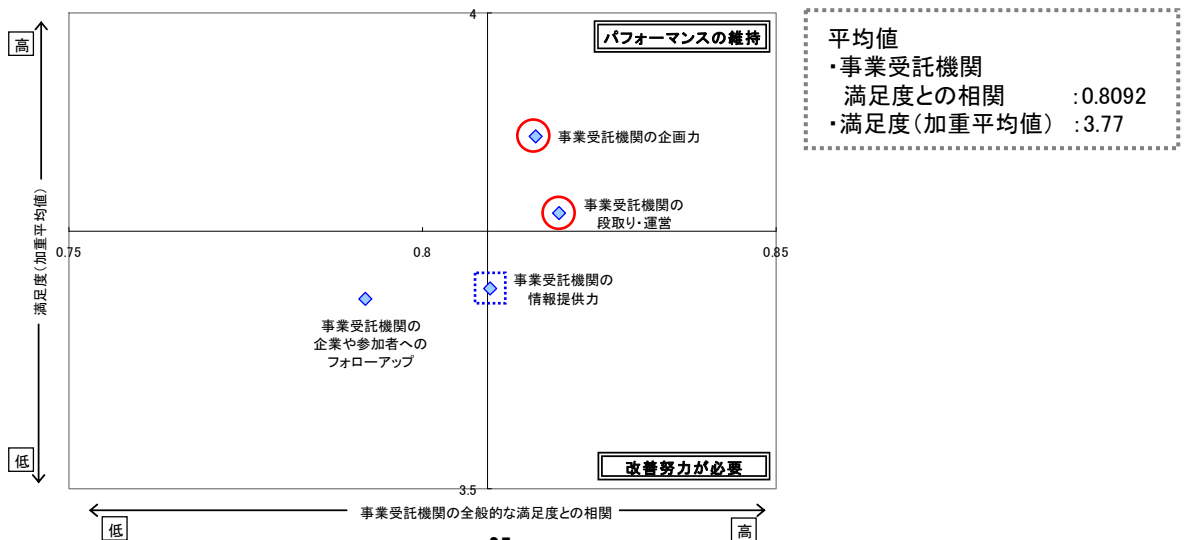
【参加企業】

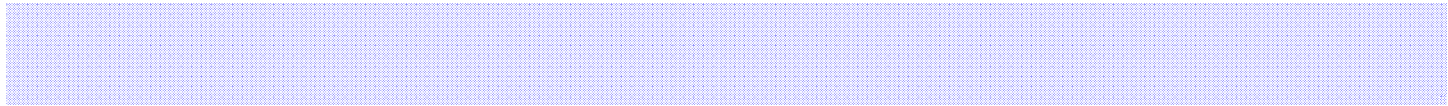
- 「事業受託機関の情報提供力」では、事業受託機関の全般的な満足度との相関は平均値と同程度であるが、満足度は平均値を下回る。
- 「事業受託機関の企画力」「事業受託機関の段取り・運営」では、事業受託機関の全般的な満足度との相関、満足度ともに平均値を上回る。

■事業受託機関の全般的な満足度と個別の満足度との相関【参加学生・求職者】



■事業受託機関の全般低な満足度と個別の評価との相関【参加企業】







第4章 モデル事業参加による成果

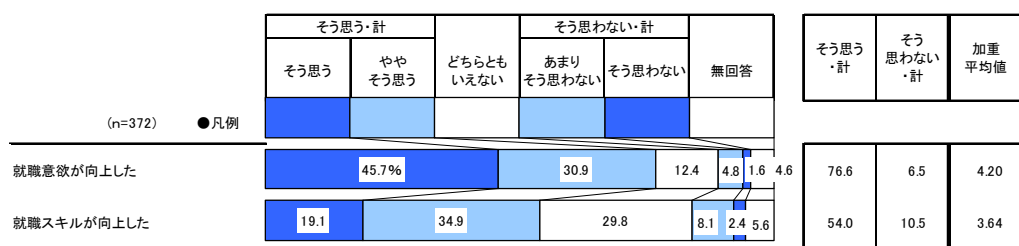
1.参加学生・求職者の成果

参加学生・求職者に対して、成果について尋ねた

● **就職意欲の向上度が77%が、就職スキルの向上度が54%。**

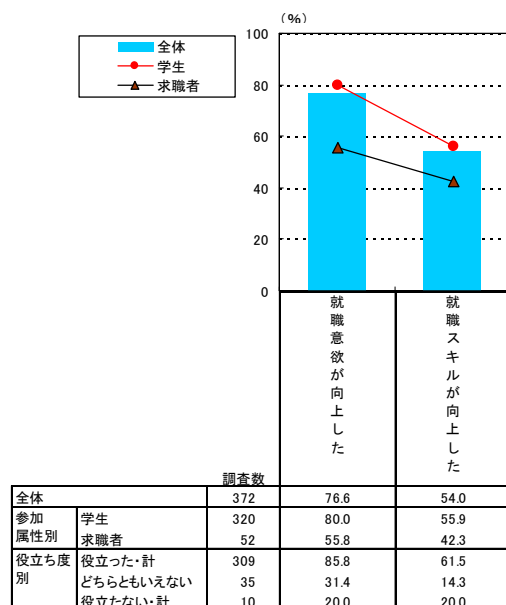
- 『就職意欲が向上した』に対し、46%が「そう思う」と回答。「ややそう思う」まで含めた「そう思う・計」は77%。一方、『就職スキルが向上した』については、「そう思う」が19%。「ややそう思う」まで含めた「そう思う・計」は54%。
- 参加属性別に「そう思う・計」の割合をみると、学生では“就職意欲向上度”が80%、“就職スキル向上度”が56%。一方、求職者では“就職意欲向上度”が56%、“就職スキル向上度”が42%。
- 役立ち度別に「そう思う・計」の割合をみると、役立った層では“就職意欲向上度”が86%、“就職スキル向上”が62%。

■プログラム参加後の就職に対する意識・スキルの向上度【マトリクス】（参加学生・求職者／各単一回答）



4101

■プログラム参加後の就職に対する意識・スキルの向上度【「そう思う・計」の割合】（参加学生・求職者／各単一回答）



4102

- プログラムに参加しての成果をみると、「参加した企業の事業内容が理解できた」(85%)、「参加した企業の企業風土が理解できた」(75%)、と「参加企業の理解」が成果として高い。

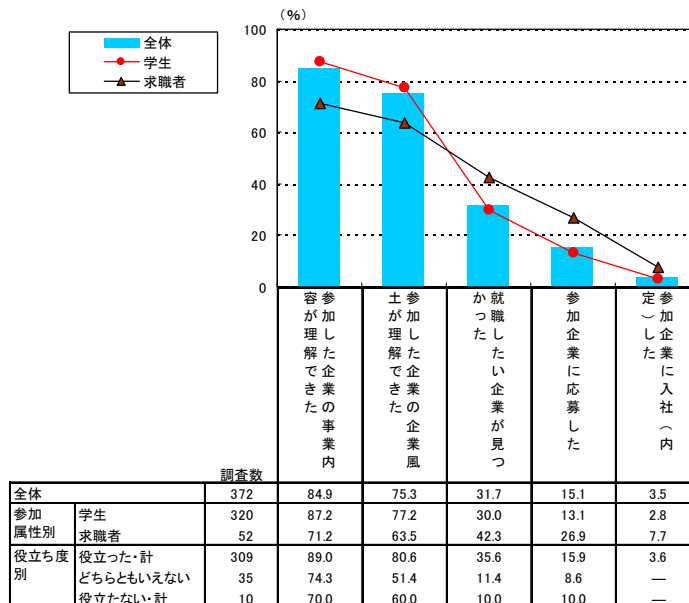
- 参加属性別にみると、いずれの層も「参加した企業の事業内容が理解できた」「参加した企業の企業風土が理解できた」が成果として高いが、学生の方が高い。
一方、求職者では「就職したい企業が見つかった」(42%)、「参加企業に応募した」(27%)が学生よりも高く、学生に比べて1つ先のステップに踏み出している。

■プログラムに参加しての成果【マトリクス】（参加学生・求職者／各単一回答）

(n=372)	●凡例		
	はい	いいえ	無回答
参加した企業の事業内容が理解できた	84.9%	8.1	7.0
参加した企業の企業風土が理解できた	75.3	17.5	7.3
就職したい企業が見つかった	31.7	61.0	7.3
参加企業に応募した	15.1	76.6	8.3
参加企業に入社(内定)した	3.5	87.9	8.6

4103

■プログラムに参加しての成果【「はい」の割合】（参加学生・求職者／各単一回答）



4104

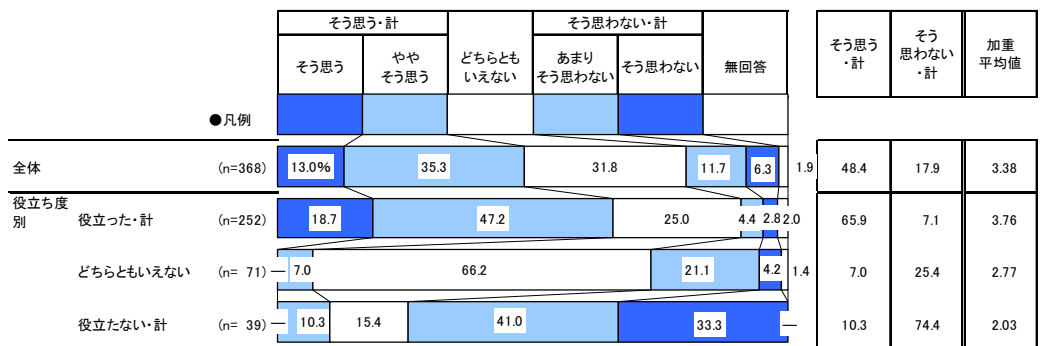
2.参加企業の成果

参加企業に対して、成果について尋ねた

● 採用スキルの向上したかについて、「**そう思う**」と回答した割合が13%。「**ややそう思う**」まで含めた「**そう思う・計**」が48%。

● 役立った層では、「**そう思う**」が19%。「**ややそう思う**」を含めた「**そう思う・計**」が66%

■採用スキルの向上度（参加企業／単一回答）

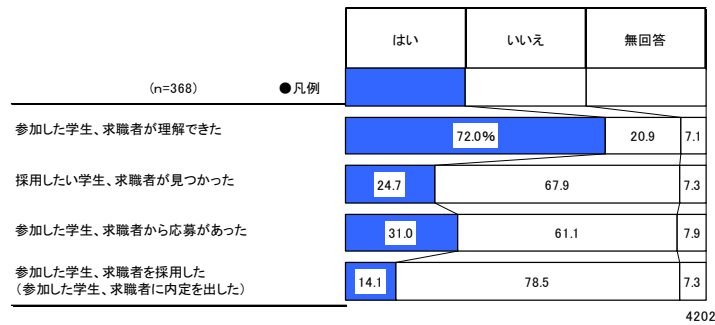


4201

● プログラムに参加しての成果をみると、7割強が「参加した学生、求職者が理解できた」と回答。

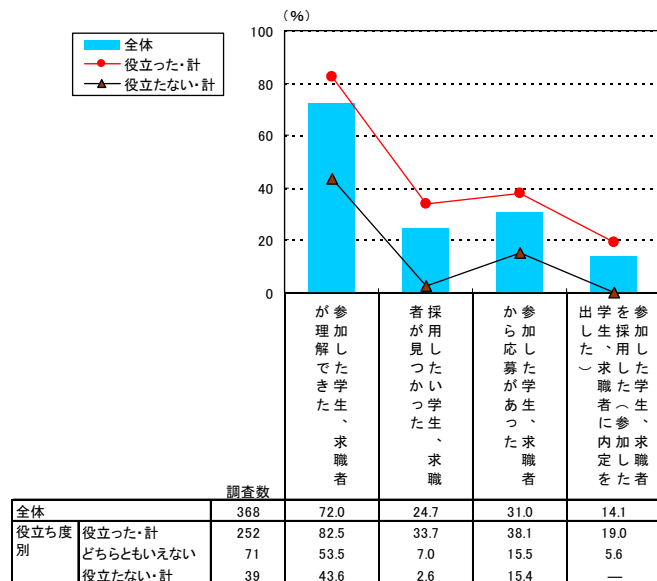
- 役立った層では、「参加した学生、求職者が理解できた」が83%、「採用したい学生、求職者が見つかった」が34%、「参加した学生、求職者から応募があった」が38%、「参加した学生、求職者を採用した(参加した学生、求職者に内定を出した)」が19%。

■プログラムに参加しての成果【マトリクス】（参加企業／各単一回答）



4202

■プログラムに参加しての成果【「はい」の割合】（参加企業／各単一回答）



4203

3.協力機関、事業受託機関の成果

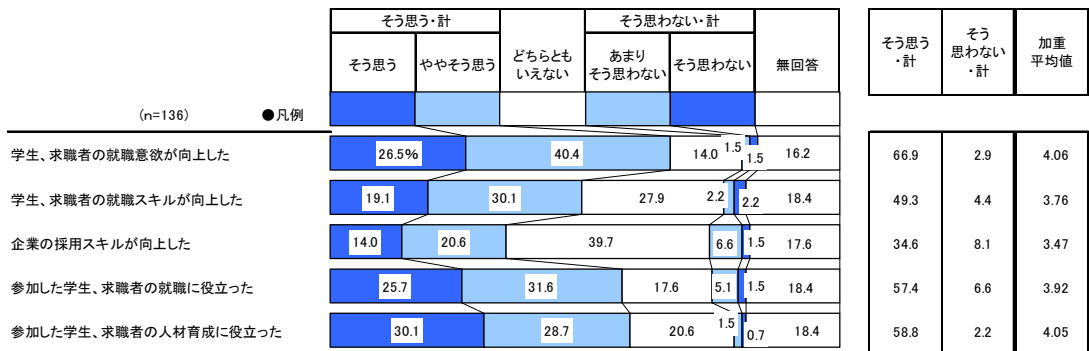
【協力機関】

- 『学生、求職者の就職意欲が向上した』(67%)、『参加した学生、求職者の人材育成に役立った』(59%)、『参加した学生、求職者の就職に役立った』(57%)の「そう思う・計」の割合が6割前後。

【事業受託機関】

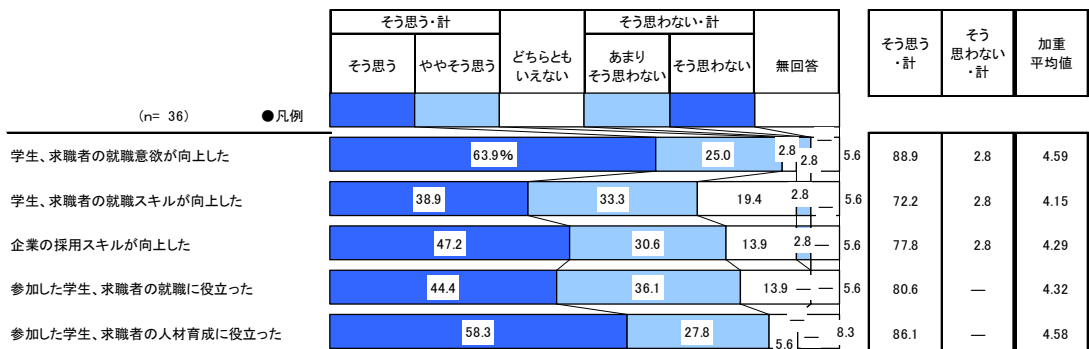
- 『学生、求職者の就職意欲が向上した』(89%)、『参加した学生、求職者の人材育成に役立った』(86%)、『参加した学生、求職者の就職に役立った』(81%)では、「そう思う・計」の割合が8割以上。

■プログラムに参加しての成果【マトリクス】:協力機関（協力機関／各単一回答）



4301-1

■プログラムに参加しての成果【マトリクス】:事業受託機関（事業受託機関／各単一回答）



4301-2

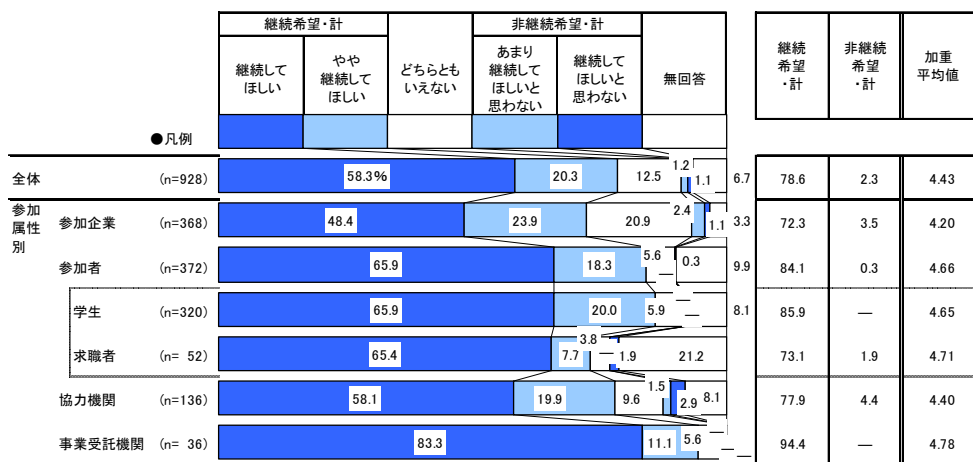


第5章 モデル事業の継続希望

1.プログラムの継続希望

- 「継続してほしい」が58%。「やや継続してほしい」まで含めた「継続希望・計」が79%。
- 参加属性別にみると、参加企業の「継続希望・計」の割合(72%)が他の層に比べて低い。
- 参加学生・求職者では、「継続希望・計」の割合(84%)が全体をやや上回る。
 - ・ 求職者(73%)に比べて、学生(86%)の方が継続を希望している割合が高い。

■今後の継続希望(全体/単一回答)



5101

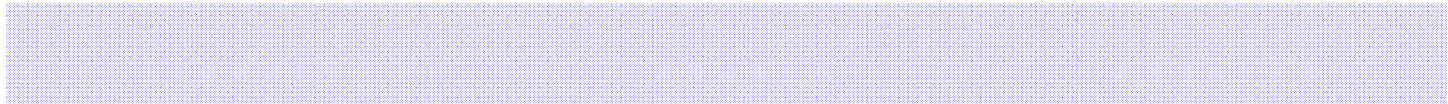
2.プログラムを有料で実施した場合の参加希望度

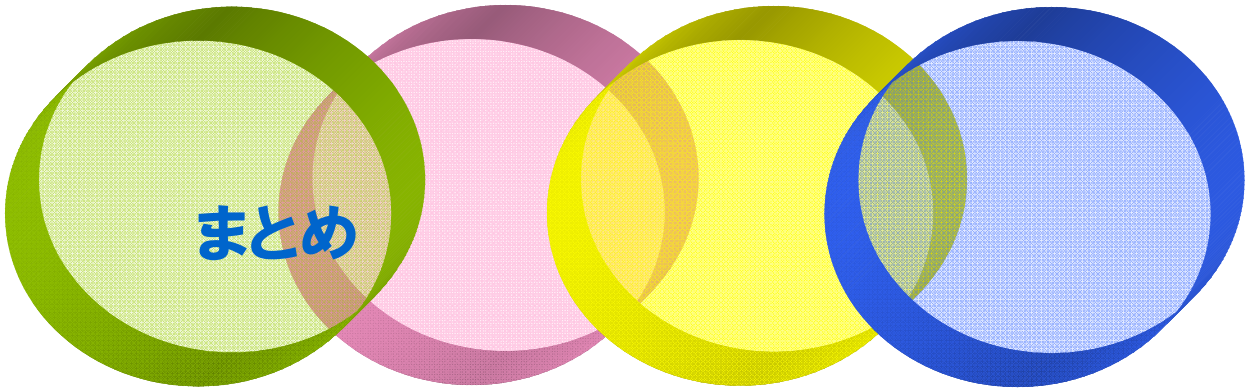
- 「参加したい」が12%。「やや参加したい」まで含めた「意向あり・計」が31%。
- 参加属性別にみると、協力機関の「意向あり・計」の割合(21%)が他の層に比べて低い。
- 参加学生・求職者の「意向あり・計」の割合(36%)は、全体をやや上回る。
 - ・ 学生(34%)に比べて、求職者(48%)の「意向あり・計」の割合が高い。

■有料実施の場合の参加希望度(全体/単一回答)

	n	意向あり・計		どちらとも いえない	意向なし・計		無回答	意向あり ・計	意向なし ・計	加重 平均値
		参加したい	やや 参加したい		あまり 参加したいと 思わない	参加したいと 思わない				
●凡例										
全体	(n=928)	12.2%	18.5	35.2	13.7	12.6	7.8	30.7	26.3	3.04
参加属性別										
参加企業	(n=368)	9.2	17.9	39.1	14.9	13.6	5.2	27.2	28.5	2.94
参加者	(n=372)	13.7	22.0	25.8	15.3	13.4	9.7	35.8	28.8	3.08
学生	(n=320)	12.2	21.6	27.2	17.5	13.8	7.8	33.8	31.3	3.01
求職者	(n= 52)	23.1	25.0	17.3	1.9	11.5	21.2	48.1	13.5	3.59
協力機関	(n=136)	9.6	11.0	50.0	8.1	10.3	11.0	20.6	18.4	3.02
事業受託機関	(n= 36)	36.1	22.2		36.1	2.8	2.8	58.3	5.6	3.86

5202





まとめ

1.モデル事業の役立ち度

- 期待以上に役立っていると感じられている。
- 参加属性別にみても、いずれの層でも期待以上に役立っていると感じられている。
 - ただし、参加企業の期待度、役立ち度は、他の層に比べて低い。

2.モデル事業の満足度

- 参加率の高いプログラムは、「セミナー」「人材マッチングフェア」「インターンシップ」。
- 参加属性別にみても、上記のプログラムの参加率が高い。
 - 参加企業では、「人材マッチングフェア」の参加率が最も高い。一方、参加学生・求職者では全体と同様に「セミナー」の参加率が最も高い。

【参加したプログラムの満足度】

- 参加したプログラムの満足度では、「アドバイス・カウンセリング」「企業見学会」の満足度が高い。
 - 参加率の高かった「セミナー」「人材マッチングフェア」は、他のプログラムの満足度に比べて低い。
- 参加属性別にみたときに、参加学生・求職者では「アドバイス・カウンセリング」「課題解決型(成果発表型)プログラム」「インターンシップ」「企業見学会」の満足度が9割を超え高い。一方、参加企業では全般に満足度は低く、参加学生・求職者の満足度を下回る。

【参加した企業、参加した学生・求職者、事業受託機関の全般的な満足度】

- 参加した企業の全般的な満足度を参加属性別にみると、参加企業の満足度に比べて参加学生・求職者、協力機関、事業受託機関それぞれの満足度の方が高い。
- 参加した学生・求職者の全般的な満足度を参加属性別にみると、参加学生・求職者の満足度に比べて参加企業、協力機関、事業受託機関の満足度は下回る。また、事業受託機関の全般的な満足度も、参加属性別にみると事業受託機関の満足度に比べて参加企業、参加学生・求職者、協力機関のそれぞれの満足度の方が低い。
 - 参加した学生・求職者の個別満足度では、参加企業の「プログラムに参加した方の魅力度」がわずかではあるが他の項目（「プログラムに参加した方の意欲」「プログラムに参加した方の数」）を下回る。

3.満足度に影響を与える要因・要素の把握

- 『プログラム内容全般の満足度』『参加した企業の全般的な満足度』『参加した学生・求職者の全般的な満足度』『事業受託機関の全般的な満足度』それぞれと、役立ち度の相関をみると参加企業、参加学生・求職者のいずれも『プログラム内容全般の満足度』との相関、満足度ともに平均値を上回る。
 - 逆に、「参加した学生・求職者の全般的な満足度」との相関、満足度ともに平均値を下回る。
- 役立ち度との相関が平均値を上回る『プログラム内容全般の満足度』と、参加した各プログラムの満足度との相関をみると、

- 《プログラム内容全般の満足度との相関、満足度のいずれも平均値を上回る》

【参加学生・求職者】

- ・「アドバイス・カウンセリング」
- ・「インターンシップ」

【参加企業】

- ・「企業見学会」

パフォーマンスの維持

- 《プログラム内容全般の満足度との相関は平均値を上回るが、満足度は下回る》

【参加学生・求職者】

- ・「セミナー」

【参加企業】

- ・「人材マッチングフェア」

改善努力が必要

- 『参加した企業の全般的な満足度』と個別の満足度との相関【参加学生・企業】

- 《参加した企業の全般的な満足度との相関、満足度のいずれも平均値を上回る》

- ・「プログラム参加した企業の意欲」

パフォーマンスの維持

- 『参加学生・求職者の満足度』と個別満足度との相関【参加企業】

- 《参加した学生・求職者の全般的な満足度との相関、満足度のいずれも平均値を上回る》

- ・「プログラムに参加した方の意欲」

パフォーマンスの維持

- 《参加した学生・求職者の全般的な満足度との相関が平均値を上回るが、満足度は下回る》

- ・「プログラム参加した方の魅力度」

改善努力が必要

● 『事業受託機関の全般的な満足度』

- 《事業受託機関の全般的な満足度との相関、満足度のいずれも平均値を上回る》

【参加学生・求職者】

- ・「事業受託機関の企画力」

【参加企業】

- ・「事業受託機関の企画力」

- ・「事業受託機関の段取り・運営」

パフォーマンスの維持

- 《事業受託機関の全般的な満足度との相関が平均値を上回るが、満足度は下回る》

【参加学生・求職者】

- ・「事業受託機関の段取り・運営」

【参加企業】

- ・「事業受託機関の情報提供力」

改善努力が必要

- 「事業受託機関の段取り・運営」は、参加学生・求職者、参加企業ともに事業受託機関満足度との相関が平均値を上回るが、参加学生・求職者では満足度は相対的に低い。
 - ・参加企業では、満足度が平均値を上回る。一方、学生では下回る。
- 事業受託機関の満足度の回答理由を尋ねた自由回答をみると、『面白い企画だった』『参加者の身になって運営されていた』などポジティブな回答が多くみられるが、一部では運営・段取りについてネガティブな回答がみられる。
- 以下のように『プログラムに参加する企業が事前にわからなかった』などのように、事前情報が参加学生・求職者に伝わっていなかったため準備がしっかりとできなかったことが伺える。
 - ・「無知な我々に、丁寧に指導して頂いたと感じました。ただ、事前に会社等を理解する機会などが少なかったので、訪問当日に十分な質問などを出来なかった点は勿体ないと感じた。」(学生)
 - ・「事前に参加企業・募集職種が分からないので無駄足になる。」(学生)
 - ・「事前の情報不足。」(学生)
 - ・「プログラム中の情報が少なく、不安になったこともあった為。」(求職者)
- また、プログラム開催時の運営として『会場が狭い』という回答がみられた。
 - ・「会場が狭く椅子がなかったので、あまり聞けなかった。」(学生)
 - ・「場所が狭くって、待つ時間が長かった。」(学生)
 - ・「場所がもう少し大きくても良い。」(学生)
 - ・「話を聞くスペースが小さい。」(学生)

4.モデル事業参加による成果

- 参加学生・求職者では、「参加した企業の事業内容が理解できた」「参加した企業の企業風土が理解できた」が高く、モデル事業に参加したことで企業を“理解”することができた。
- 参加企業でも「参加した学生、求職者を理解できた」が高く、参加学生、求職者を“理解”することができた。